

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化財看板設置及び建替事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	11	01	53
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	指定文化財等を現地で知ることができる。
事業内容	県・市指定文化財や国登録文化財の説明看板の設置や建替・修理を、所有者や保管責任者と調整して実施し、市民に周知する。			
事業開始から現在までの状況変化	説明看板としては、文字のみのもの、モノクロ写真入りのもので設置が完了していたが、老朽化したものから順次、カラー化を進めて建替えを行い、より理解し易いものを設置している。新指定・登録物件については説明看板を随時新設している。新住民や他市からの見学者も増加していることから、周知の必要性も高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	文化財看板設置数	5	6	3	基	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	・市指定文化財看板修理 1基 （西栄寺指定文化財説明看板の板面取り替え工事） ・市指定有形文化財説明看板設置 1基 （赤城神社本殿） ・市指定無形文化財可動式説明看板 （赤城保存会）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,817,400	2,609,760	1,649,640				
事業費(b)(円)	420,000	536,760	143,640				
うち一般財源	420,000	536,760	143,640				
職員給与費(c)(円)	1,397,400	2,073,000	1,506,000				
人役・職員(人)	0.20	0.30	0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	老朽化した看板の修理と新たに指定・登録となった文化財の説明看板を設置する。	③取組の課題	登録・指定に即応した説明看板の設置と老朽化した看板の計画的な修理をする。
②今年度(H27)に実施した取組	老朽化した看板1基の修理と新たに市指定有形文化財1件の説明看板1基を設置した。無形団体に可動式説明看板を作成した。	④今後の改善計画	老朽化した看板の修理計画の策定する。